

2008年8月 第315号



スズキ労連

2008年
8月号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079
スズキ関連労働組合連合会
発行人 加藤 幸博
編集人 光田 玄

BIG チャンス 自動車総連の共済 加入のチャンスは年2回です!

●今お使いの預金口座から自動積立!

10月31日迄 今すぐお問い合わせ下さい!
秋の募集期間中

*マイドクターは通年募集です。

加入は早く、若いうちに! **自動車総連積立年金** 口座増やしてゆとりあるシルバーライフを!

1 目的に合わせた2コース
税軽減効果大の「個人年金コース」と、中途払い出しが可能な「一般積立コース」

3 運用利率は何と年1.37% ※1
(2008年7月末決算における実績)
予定利率1.25%+配当率0.12% ※2

2 自由に選べる積立額
月々3千円から、ボーナスは3万円からOK
●積立途中でも口数を自由に変更出来ます。
(年2回→春・秋の加入者受付期間中)
●年2回お金に余裕が出来れば一時積増が出来、年金原資を大きく出来ます。

※1パンフレットは年1回春募集時に作成のため2007年度の配当実績を記載しています。 ※2予定利率は将来変更される場合があります。

新規加入お申込受付 **4/1~5/20 9/1~10/末の年2回** お申込は...所属組合役員まで

制度の詳細のお問合せは

明治安田生命... **0120-827-050** (平日営業時間9:00~17:00)
自動車総連... **03-3434-7641**

【既に参加いただいている皆様へのご連絡】
・05年4月より、給付金請求・掛金変更・住所変更等の手続き方が変更となりました。
・詳しくは上記連絡先までお問い合わせ下さい。



自動車総連 医療共済 マイドクター

ご家族の「心配」を「安心」に変える2つのサービスをご用意しました

1 マイドクター独自のサービス 24時間 365日

電話健康・医療相談サービス
皆さんやご家族の急な「病気」や「ケガ」、そんな時はマイドクターにお電話ください。24時間365日、専門のスタッフが対応し、お近くの専門医をご紹介します。

名医手配・紹介サービス
※「電話健康・医療相談サービス」「名医手配・紹介サービス」は自動車総連の業務委託先であるティーベック株式が提供します。

2 いざという時にこそ、充実した医療保障

入院 (疾病・災害入院給付金)	手術 (手術給付金)※約款所定の手術が対象	通院 (通院給付金)
ガン (ガン入院給付金)	女性疾病 (女性疾病入院給付金)	ボーナス (無事故給付金)

※各コースの保障内容をご確認ください。
さらに **最長90歳まで保障を** 継続できるほか、配偶者や **お子様だけでも加入** できます。
※自動車総連 医療共済 マイドクターの医療保障部分は、AIGエジソン生命を引受保険会社とする無配当医療保険02です。また、この資料は商品の概要を記載しています。商品の詳細につきましては、専用のパンフレット、ご契約のしおり・約款、重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)等をご確認ください。

お問い合わせ・お申し込みは 所属の労働組合まで

お問い合わせは **自動車総連 共済グループ** **03-3434-7641**

医療保障部分の詳しいお問い合わせは **AIGエジソン生命保険株式会社** 受付時間 **0120-883-652** (9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

労連第36回定期大会



スズキ労連 第37回定期大会開催案内

- ◇日時 2008年9月14日(日)10:00~
- ◇場所 浜松・プレスタワー 静岡新聞ホール
- ◇内容 【報告承認事項】
 - ①第36期活動経過報告
 - ②第36期会計決算報告
 - ③第36期会計監査報告
 【議件】
 - ①スズキ労連規約改定の件
 - ②第37・38期役員選挙の件
 - ③第37・38期運動方針(案)の件
 - ④第37期予算(案)の件



各種優待契約施設の割引券は労連ホームページの Top ページよりプリントアウトできます。
パスワード: saw2007

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20(スズキ労働会館内)
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail: mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連活動状況(労連ブログ)・スズキ労連機関紙 閲覧パスワード...saw2007

【編集後記】いよいよ定期大会が近づいてまいりました。今号は36期最後の機関誌。感慨深いです...。(次長2)

2008年スズキ労連労使会議 開催

— 「中期5ヵ年計画」達成に向け、労使の共通認識を深める —



<組合側>
組合側から24名が参加

2008年 労連労使会議

<会社側>
会社側から20名が参加



スズキ株式会社 内田常務役員(国内営業本部)の講演



スズキ株式会社 竹内常務役員(生産本部)の講演

スズキ労連は毎年、加盟単組の委員長と会社社長が一堂に集り「スズキ労連労使会議」を開催しております。労使会議ではスズキグループの労使の信頼関係を深めるとともにスズキグループ全体の会社方針の確認、労使での課題認識の共有化、労働条件向上、会社の業績向上について意見交換を行っております。

本年は7月18日(金)に労使会議を開催し、ワークライフバランス、健康管理面からの総労働時間短縮、相良新工場の稼働についての説明を受けるとともに、非正規社員の動向、販売会社スタッフの働き方、適格年金制度変更について意見交換をいたしました。

また、スズキ(株)国内営業本部、生産本部からスズキグループの方針についての説明があり、国内市場の動向、海外展開についての情報交換による課題の共有化を図りました。話し合いの中では、国内・海外とも日々めまぐるしく情勢が変わる中で、中期5ヵ年計画最終年として計画達成に向け、いままで以上に労使のベクトルを合わせる必要性が確認されました。

<2008年 労連労使会議>

- ◇日時/2008年7月18日(金)
- ◇場所/グランドホテル浜松 4F スズキゲストハウス
- ◇出席者/組合側 24名 会社側 20名
- ◇内容/
 - 1)スズキ労連 加藤会長挨拶
 - 2)スズキ株式会社 松永和己 管理部門(人事・法務)常務役員挨拶
 - 3)自己紹介
 - 4)スズキ労連の活動紹介 古川事務局長
 - 5)スズキグループ方針説明
 - ①国内生産・海外生産の状況と今後のスズキグループの取り組むべき課題
スズキ(株) 竹内常務役員(生産本部)
 - ②国内市場の状況と今後の国内販売戦略について
スズキ(株) 内田常務役員(国内営業本部)
 - 6)質疑応答
 - ①非正規社員の割合と動向について
 - ②販売会社の働き方について
 - ③適格年金制度変更について

☆ 2008年労連労使会議でのおもな質疑応答 ☆

- ① **Q. 組合:**現状の正規社員と非正規社員の割合と動向について教えていただきたい。
A. 経営:現状、製造部門では6工場で正規61%非正規39%であるが、今後自動化を進め非正規比率を下げていく。メーカーでは間接のCAD業務の方について本年10人正規に登用したように、派遣社員の正社員登用を進めている。秋葉原の通り魔事件を受け、非正規社員のメンタル面にも気を配っている。メーカー医務室での診察やスズキ健保での相談ダイヤルを非正規社員や関連会社の社員の方々にも開設するので組合からも周知してほしい。
- ② **Q. 組合:**販社における女性セールスが増えているが、働き方、勤務帯に問題は生じていないか？
A. 経営:基本的に男女による区別はないが、夜間の訪問は禁止としている。
- ③ **(要望) 組合:**
 ・バンパーのメーカー回収が他社に比べ徹底されていないとの話がある。確認をお願いしたい。
 ・適格年金制度が2012年に廃止されることが決まっている現在においてスズキ労連の加盟組合でもその対応をこれからしなければならぬ会社があり、変更する場合には労働組合とよく相談していただきたい。できれば検討委員会に加えていただくことも考えていただきたい。また、組合では適格年金変更に当たり退職金制度そのものの見直しも想定されるため水準の低下が無いようチェックをするようにする。



核兵器廃絶!!

広島・長崎平和行動に参加

8月4日～5日 8月7日～9日



2008平和ナガサキ大会(7日、長崎県立総合体育館)

連合は8月4日(土)、「核兵器廃絶2008平和ヒロシマ大会」を開催し、連合組合員など全国からおよそ6,500名が集り、スズキ労連からは寺岡中執が参加いたしました。また、8月7日(火)には、「核兵器廃絶2008平和ナガサキ大会」を開催し、全国から連合組合員などおよそ4,200名が集り、スズキ労連からは西條スズキ労組高塚支部書記長、平岡ボデー労組山村副執行委員長が参加致しました。

連合の高木会長はヒロシマ平和大会での冒頭の挨拶で、「世界の核兵器の状況は、現在2万7千発も存在していると言われており、2005年に開催された核拡散条約(NPT)再検討会議では、核兵器の廃棄・削減に向けて何ら合意が得られず、世界の核軍縮・核不拡散態勢が重大な危機に直面している状況が続いている」と述べるとともに、米印原子力協定についてNPTのダブルスタンダードに繋がると強く批判した上で、「2010年に開かれる次期NPT再検討会議での実効ある合意をめざし取り組みを展開していく」と決意を新たにしました。

スズキ労連も、毎年各平和行事に参加し、核兵器廃絶への願いを訴え続けております。しかし被爆体験者が年々少なくなる中で、世界的にみても米国、ロシア、英国、フランス、中国の核保有五カ国に加え、NPT未加盟で核保有したインド、パキスタン、事実上の保有国であるイスラエル、核兵器開発に繋がるウランを濃縮・拡大するイラン、核実験した北朝鮮の動向などは核不拡散体制を大きく揺るがしているのが現状です。今後、労連として、核兵器廃絶と平和社会の実現をめざして職場や地域で粘り強く取り組むとともに、連合、自動車総連や多くのNGOとも連帯し、一層の運動を展開していき、ひとりひとりの声を大きくして政府への働きかけを強めていく必要があります。



ヒロシマ大会で挨拶をする連合・高木会長(4日、広島県立総合体育館)

特定非営利活動法人(NPO法人) 交通遺児等を支援する会

第5回

チャリティーバザー 物品提供のお願い

「交通遺児等を支援する会」では、前身である交通遺児母の会の活動を継続し、病気などにより経済的負担を強いられる母子に対する「緊急一時貸付」・「越年助成金」を得るため、11月2日(日)、東京・新宿のエステック情報ビル「エステック広場」でチャリティーバザーを計画しています。自動車総連・スズキ労連はこの活動を支援するために今年もバザー提供品の募集をいたします。皆様から暖かいご支援を宜しくお願いします。

食料品・嗜好品・文具日用雑貨・美術工芸品インテリア作品・手芸品・食器・タオル・シーツ・衣類(新品のみ)など

10月10日(金)までにスズキ労連事務局まで



去年のバザーの様子。ちなみに去年、スズキ労連は351点もの物品を提供いたしました

2008自動車総連 福祉カンパ

社会福祉施設へ車両を寄贈。

皆様からのご理解とご協力、まことにありがとうございました!!

毎年7月に展開させていただいている自動車総連福祉カンパ。今年も皆様のご理解とご協力のもと、例年以上のカンパ金が集り、最終の集計で、スズキ労連合計 **¥4,918,209** となりました。

このカンパ金は自動車総連で集約され、総連が毎年行なっている社会福祉施設や団体への車両・物品寄贈の拠出金として使われます。今年もスズキ労連が窓口となり、静岡県内で2施設、滋賀県で1施設、奈良県で1施設の計4箇所の社会福祉施設に車両を寄贈することとなりました。すでに寄贈を終えた2施設をご紹介します。

NPO法人 六星 ウィズ蜆塚

*心身障害者小規模授産所 (浜松市中区蜆塚1丁目9-12)

【寄贈日】
 ・日時:7月25日(金)
 ・寄贈車両:パレット
 ・推薦者:田口顧問



主に視覚障害の方が通所されている授産所で点字名刺印刷や竹墨入りの人形などを製作しています。寄贈したパレットのオートスライドドアは視覚障害のある方には特に便利なようで大変喜んでいただきました。意見交換会で多く出た意見は視覚障害者にはとにかく声掛けをしてほしいとのことでした。何を手伝えばいいのか悩む前にまず声掛けをすれば、かならず返答があるので、視覚障害者が本当に望むサポートが出来るとのこと。是非実践したいですね。

*他の2施設への車両寄贈の様子は次号以降、誌上にてご紹介いたします。

NPO法人 愛光園

*心身障害者小規模授産所 (滋賀県長浜市西上坂町553)

【寄贈日】
 ・日時:8月4日(月)
 ・寄贈車両:ワゴンR
 ・推薦者:スズキ販自 販販滋賀支部



ポリ製品や金具部品の下請け作業を行なう心身障害者通所授産施設。施設利用者の多くが送迎車で通所しているとのこと。寄贈したワゴンRは利用者の足としてフル稼働することになりそうです。最近では行政の制度変更が頻繁で、その事務処理に工数が取られること、また仕事がたくさん入ることは大変ありがたいが、職員・利用者とも人手不足でとても忙しいといった悩みがあるそうです。利用者の笑顔がとても印象的な施設でしたが、みなさんあまり無理をなさらず、いつまでも仲良く楽しく過ごしていただきたいと願うばかりです。

聖職者の汚職

〈田口章ブログ7月23日記事より抜粋〉

大分県教育委員会の汚職事件に関連して、簡単に触れておきます。今回の大分のケースで最も問題なのは、「カネ」と「試験データの改ざん」でしょう。浜松市は政令市になった昨年、教職員の採用を行っています。それまでは静岡県教育委員会が採用していました。試験のチェックは、「組織として集団で行っているため、大分のように個人が恣意的に操作するのは考えられない」とのことでした。また、職員には「倫理規定」というものがあり、当然、贈収賄などあれば懲戒対象になっています。答にはなっていませんが、その意味では「不正採用」は考えられません。なお、浜松市は、基本的に県教委のやり方を踏襲しており、一次試験は、県と静岡市、浜松市で共同で試験問題を作っているそうです。二次試験は独自に充実させており、市長部局職員など教育委員会以外の面接官も含めた面談や、模擬授業などを行い、2日間かけてチェックの充実を図っているそうです。今年度の採用試験も始まっていますが、「少しでも公平性を高められるように、公開できる部分の情報公開や、名前を伏せて採点するなど、二次試験から対策を考えていきたい」と話していました。ただ一般的に、就職に関して「コネ」というのがありますよね…。教育委員会には聞きませんでした。カネと「改ざん」はないとしても、そういうことが「全くない」と言えるのでしょうか…。新人議員の私にはわかりません。私は、この際、「内部統制」をしっかり確立すべきではないか、と考えています。「内部統制」は、「日本版SOX法」が今年から施行されたことにより、民間企業に義務づけられた制度で、簡単にいえば3つのポイントがあります。①財務報告の信頼性アップ、②業務の効率化、③コンプライアンスの徹底です。これらの仕組みを明確にし、社員に周知することにより、企業価値を高めていこうというモノです。今回の大分県の事件では、③が課題になっているわけですが、リスクマネジメントの観点からも、こうした制度を「見える化」し、職員に徹底すべきだと考えます。先月、コンプライアンス条例の調査(神戸市・大阪市)に行ったのも、その一環なのですが、神戸市では「市民など(公職者など含む)からの意見・要望(要は「口利き」)をすべて文書として記録する」という制度を持っています。地方自治体の「内部統制」のあり方については、しばらく研究したいと思っています。

スズキ労連 組織内議員「田口章」は考える。



「おもしろきこともなき世をおもしろく」「今より早いときはない」がモットーです。浜松市議会議員 田口章

田口議員のマスコットキャラクターが生まれました。

浜松市議会議員1年生「田口章」です。民間企業23年間のサラリーマンの視点で、企業人として、生活者として、10年、20年後の浜松のために、身近な政治改革にチャレンジします。

田口章のブログ 「創ろう! 元気な浜松」

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

浜松市政から身近な政治問題、プライベート(?)まで田口が気にしていること、考えていることがよくわかります。コメントも書き込めますので、皆様のご意見をどしどしお寄せ下さい!

※「後援会だより」「メールマガジン」のバックナンバーも閲覧できるようになりました。

労連HPからもアクセスできます。

